

## 2018（平成 30）年度 事業報告

### 1. 大学地域連携課題解決支援事業

- (1) 2018 年度実施事業として、継続 5 件、新規 9 件に助成を行った。
- (2) 環びわ湖大学地域交流フェスタ 2018  
11 月 18 日(日) 10:00~16:00 明日都浜大津において開催。
- (3) 「大学地域連携課題解決支援事業」選考委員会の設置について  
地域連携課題解決支援事業選考委員会設置要綱を制定し、4 大学（滋賀医科大学、聖泉大学、滋賀短期大学、龍谷大学）へ選考委員の推薦依頼を行った。
- (4) 2019 年度実施事業を募集し、選考委員会において選考した。

### 2. 学生支援事業

- (1) 学生委員会の設置  
県内大学の学生の参画による学生委員会を組織し、自身の大学の SDG s 関連事業の発信・充実および県内大学の SDG s を発信するイベントを大学間連携により企画運営することとした。
- (2) 立命館大学 Sustainable Week への参加  
10 月 14 日開催の立命館大学 Sustainable Week に学生 12 名、職員 5 名が参加した。
- (3) SDG s 学生大会「びわこで考える SDG s」  
平成 31 年 3 月 16 日（土）に滋賀県立大学において SDG s 学生大会「びわこで考える SDG s」を開催し、知事による基調講演、パネルディスカッションのほか、学生団体等によるポスターセッションやワークショップなどを実施した。

### 3. 就職支援事業

- (1) 合同企業説明会  
11 件の合同企業説明会に協力した。
- (2) 情報交流会、情報交換会・研修会の開催  
○就職支援に関する意見交換会：9 月 21 日（金）  
○大学就職担当者間の情報交換会・研修会：1 月 25 日（金）
- (3) 学生対象就職イベント「しが就活塾」の開催  
12 月 9 日（日）に草津市立まちづくりセンターにおいて開催した。

### 4. 単位互換事業（おうみ学生未来塾を含む）

- (1) 提供科目：67 科目
- (2) 受講科目及び受講者数：19 科目 99 名

### 5. 広報事業

- (1) ホームページの管理・運営  
組織図・役員一覧・財務状況を更新。各事業についてホームページに開催するなど広報を行った。
- (2) 広報資料の作成・配布  
2019 年度版リーフレットを作成し、関係機関に配布した。

### 6. 県内高等教育振興のための政策研究事業

- (1) 県内大学等の現状把握・分析  
地域および高等教育機関間の連携事業に関して記述式アンケートを実施した。
- (2) 滋賀県における高等教育機関振興のための課題  
1 月 22 日（火）に石川県及びコンソーシアム石川を訪問し、聞き取り調査を行った。また大学立地市の市長を訪問し、意見をお聞きした。
- (3) 報告書の作成  
3 月末に報告書を作成し、滋賀県に提出した。

## 2018（平成 30）年度大学地域連携課題解決支援事業 報告

### 1. 担当

主担当 龍谷大学

副担当 成安造形大学、東近江市、草津市

### 2. 2018 年度事業報告

5 月 17 日(木) 第 1 回事業部会

審議事項 1. 環びわ湖大学地域交流フェスタ 2018 について

2. 平成 31 年度部会事業について

1) 保留・再検討の支援事業について

2) 「大学地域連携課題解決支援事業」選考委員会の設置について

6 月 8 日(金) 第 2 回事業部会

審議事項 1. 評価保留事業の採否について

・評価保留の支援事業であった、彦根市教育委員会・びわこ成蹊スポーツ大学が担当である「今後の中学校運動指導部のあり方～彦根市全体のスポーツ推進につなげよう～」の支援事業について、審議の結果、採択とした。

7 月 4 日(水) 第 3 回事業部会

審議事項 1. 地域交流フェスタ 2018 について

2. 環びわ湖大学・地域コンソーシアム大学

地域連携課題解決支援事業選考委員会設置要綱の制定について

8 月 3 日(金) 第 4 回事業部会

審議事項 1. 環びわ湖大学・地域コンソーシアム大学

地域連携課題解決支援事業選考委員会設置要綱の制定について（継続）

継続審議の結果、設置要綱について承認し、同日、コンソーシアム事務局から加盟大学へ設置要綱制定についての報告、4 大学（滋賀医科大学、聖泉大学、滋賀短期大学、龍谷大学）へ選考委員の推薦依頼を行った。

10 月 12 日(金) 第 5 回事業部会

審議事項 1. 環びわ湖大学地域交流フェスタ 2018 について

2. 2019(平成 31)年度 予算について

11 月 20 日(火) 第 6 回事業部会

審議事項 1. 環びわ湖大学地域交流フェスタ 2018 について

2. 2019(平成 31)年度支援事業の募集について

(1) 募集要項・募集期間・自治体の追加（滋賀県）について

・地域交流フェスタ2018

日時：11月18日(日) 10:00～16:00

場所：明日都浜大津

内容：支援事業 中間報告会

ポスターセッション

交流会

SDGsに関する講演会

・大学地域連携課題解決支援事業 2018 実施事業

事業	番号	大学	自治体	テーマ	事業実施額
継続	1	聖泉大学	彦根市	「彦根映画観光ツーリズム」の提案と実践	150,000
継続	2	滋賀県立大学	彦根市	「彦根市の観光を豊かにするパブリック・スペースのあり方」－街路空間、空き地、空きスペースの活用による地域活性化－	150,000
継続	3	成安造形大学	東近江市	東近江市ブランドロゴの作成	147,172
継続	4	びわこ学院大学	東近江市	近江鉄道の活用による地域活性化	149,115
継続	5	龍谷大学	草津市	「明日行きたくなる！草津市の魅力発信映像」の制作～旧草津川跡地公園～	150,000
新規	1	びわこ学院大学	東近江市	プレコンセプションケアの東近江市天秤プロジェクト	100,000
新規	2	立命館大学	甲賀市	地域と学生が協力して考える廃校（休校）の活用方策	150,000
新規	3	立命館大学	草津市	アクティブライフスタイルを誘発する戦略的ヘルスプロモーションの検討	100,000
新規	4	龍谷大学	東近江市	東近江市のニューツーリズム「フットパス」	100,000
新規	5	聖泉大学	彦根市	彦根市防災キャンプ事業	150,000
新規	6	びわこ成蹊 スポーツ大学	彦根市	彦根市のスポーツ推進について	100,000
新規	7	龍谷大学	東近江市	学生と市民が一体となって取り組む「農」から広がる愛東のまちづくり	94,971
新規	8	滋賀医科大学	大津市 草津市	学生活動によるがん患者、がん患者家族を支援する活動 がん予防への意識を高める活動、がん患者の就労支援を推進する活動	100,000
新規	9	長浜バイオ大学	長浜市	小中学校に科学の楽しさを伝え、理系人材を育てる“サイエンスカフェ”の実施	74,300

以 上

## 2018（平成 30）年度学生支援事業報告

### 1. 担当

主担当 滋賀県立大学

副担当 立命館大学、びわこ学院大学

参画 各大学

### 2. 事業計画概要

県内 13 大学に通学する 3 万 3 千人の学生が、地域課題の解決に貢献すること、および、その取り組みを通して、滋賀の人々、生活文化、風景、産品などの滋賀の魅力に出会い、交流を深める。

本年度は、SDG s にかかる取組の推進をメインテーマとし、学生間の交流の場を企画するとともに県内大学においてそれぞれの特色を生かした SDG s 関連事業を実施する。

### 3. 進捗状況

#### ①参加学生の募集

7 月 24 日（火）に第 1 回学生支援事業部会議を開催し、県内大学の学生の参画による学生委員会を組織し、自身の大学の SDG s 関連事業の発信・充実および県内大学の SDG s を発信するイベントを大学間連携により企画運営することとした。その後、各大学から参加学生を募集し、学生委員会を組織した。

学生委員会の参加者は、以下のとおりである。

1. 長浜バイオ大学：3 回生 2 名
2. 滋賀文教短期大学：1 回生 1 名
3. 滋賀大学：3 回生 1 名、2 回生 1 名、1 回生 1 名
4. 滋賀県立大学：3 回生 2 名
5. 聖泉大学：1 回生 2 名
6. びわこ学院大学・短期大学部：3 回生 1 名、2 回生 1 名、1 回生 1 名
7. 立命館大学（びわこ・くさつキャンパス）：3 回生 1 名、2 回生 2 名、1 回生 1 名
8. 滋賀医科大学：3 回生 1 名、2 回生 1 名
9. 龍谷大学（瀬田学舎）：参加者なし
10. 放送大学（滋賀学習センター）：参加者なし
11. 滋賀短期大学：2 回生 1 名
12. 成安造形大学：1 回生 2 名
13. びわこ成蹊スポーツ大学：3 回生 1 名、2 回生 1 名

計 24 名

## ②学生委員会の開催

9月28日（金）および11月6日（火）に、第1回および第2回の学生委員会を開催した。（9/28・学生12名、職員10名参加、11/6・学生12名、職員8名参加）

学生委員会では、SDGsの17の目標を達成する道のりを体験するカードゲームを行うとともに、大学・地域交流フェスタ2018や年度末のSDGs学生大会において、各大学の活動発表や大学間連携企画について協議した。

## ③立命館大学 Sustainable Week 参加

10月14日、立命館大学において開催された Sustainable Week に学生委員会の学生12名、職員5名が参加し、各大学の取組・活動を体験するとともに、SDGsの普及等について意見交換を行った。

## ④大学・地域交流フェスタ2018への参加

11月18日（日）、明日都浜大津にて開催された地域連携フェスタに学生委員会の学生7名、職員4名が参加し、各大学のSDGs関連活動の発表と市民団体等との意見交換を行った。

## ⑤SDGs学生大会「びわこで考えるSDGs」

平成31年3月16日（土）に滋賀県立大学においてSDGs学生大会「びわこで考えるSDGs」を開催し、知事による基調講演、パネルディスカッションのほか、学生団体等によるポスターセッションやワークショップなどを実施した。県外を含む16大学、9高校をはじめとして、学生を中心に359名の参加があり、活発な意見交換と交流が行われた。

学生支援事業部会の関係では、学生29名（学生委員会学生以外も含む）、職員7名が参加し、パネルディスカッションへの登壇、事例発表、ワークショップへの参加等を行った。

## 4. 2019年度事業計画および予算の検討

12月3日（月）に第2回学生支援事業部会議を開催し、次年度の事業計画と予算について以下の通り協議した。

- ・2019年度も引き続き滋賀県立大学が学生支援事業部会の代表校を務め、副代表校も本年度同様に立命館大学、びわこ学院大学が務める。
- ・今年度に引き続きSDGsを来年度の部会のテーマと位置づけ、これまでの活動をより発展した大学間連携事業等を実施する。
- ・大学間連携によるSDGs関連活動を行うとともに、SDGs関連情報を対外的に発信するための動画コンテンツ制作等を業者委託により行い、滋賀のSDGsの取組を全国にPRする。
- ・2019年度予算要求額は、学生委員会学生交通費15万円および動画コンテンツ制作委託費として85万円、合計100万円とする。

以上

## 2018（平成 30）年度就職支援事業報告

### 1 就職支援事業部会（13 大学）

（主担当校）滋賀県立大学、（副担当校）びわこ成蹊スポーツ大学、滋賀短期大学

（参画校）滋賀大学、滋賀医科大学、龍谷大学、立命館大学、成安造形大学、聖泉大学、  
長浜バイオ大学、びわこ学院大学、滋賀文教短期大学、放送大学

#### ①第 1 回就職支援事業部会

平成 30 年 6 月 15 日（金） 10：00～11：45 セミナー室 出席：8 大学

#### ②第 2 回就職支援事業部会

平成 30 年 9 月 21 日（金） 15：15～16：45 セミナー室 出席：11 大学

#### ③臨時就職支援事業部会

平成 31 年 1 月 25 日（金） 10：00～12：00 セミナー室 出席：10 大学

### 2 2018（平成 30）年度事業

#### （1）合同企業説明会（協力）（別紙参照）

開催済：11 件

#### （2）滋賀県企業人事担当者と大学就職・進路担当者との情報交流会

滋賀経済産業協会主催の大学と企業との情報交流会に参加。

平成 30 年 12 月 18 日（火） 14：00～19：00 クサツエストピアホテル

参加企業：42、参加大学：19

#### （3）就職支援に関する意見交換会・情報交換会・研修会

##### ①就職支援に関する意見交換会

- ・大学生の県内就職の現状と今後の予定について
- ・各関係機関および大学の次年度以降の取り組みについて

平成 30 年 9 月 21 日（金） 13：00～15：00 会議室

参加関係機関：11、参加大学：11

##### ②大学就職担当者間の情報交換会・研修会

- ・障がいのある学生の支援について
- ・キャリア支援者の面接スキル向上について

平成 31 年 1 月 25 日（金） 13：00～17：00 会議室

参加者：15 名（11 大学）

#### （4）学生を対象とした就職活動に活かす就職イベント

##### ①しが就活塾 1day ワークショップ

「1 日で業界研究のやり方と、実際に企業 9 社を理解する」

- ・実践的なグループワークの練習
- ・人事担当者からのフィードバック

平成 30 年 12 月 9 日（日） 10：30～17：00 草津市立まちづくりセンター

参加学生：27 名

#### （5）企業採用経験者による模擬面接会

平成 30 年 5 月 18 日から 7 月 31 日までの間で実施希望大学で実施。

### 3 参考資料

#### ①平成 30 年度就職支援事業一覧

平成30年度 就職支援事業一覧

	平成30年度事業	平成29年度事業
①	<p>日時:8/16 「滋賀ジョブフェア 2018」 場所:大津プリンスホテル 主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか 協力:環ひわわ湖大学・地域コンソーシアム、COC+参加大学 参加企業:144社 参加学生数:130名(新卒:102名、既卒:28名)</p>	<p>日時:6/7 「滋賀学生フェア 2017」草津会場 場所:クサツエスタピアホテル 主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか 協力:環ひわわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:59社 参加学生数:134名(新卒:110名、既卒:24名)</p>
②	<p>日時:7/12「湖東地域就職フェア」 場所:ホテルニューオウミ(近江八幡市) 主催:ハローワーク東近江、近江八幡商工会議所、東近江地域雇用対策協議会ほか 共催:環ひわわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:40社 参加学生数:31名</p>	<p>日時:7/14「湖東地域就職フェア」 場所:ホテルニューオウミ(近江八幡市) 主催:ハローワーク東近江、近江八幡商工会議所、東近江地域雇用対策協議会ほか 共催:環ひわわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:37社 参加学生数:46名(内訳:新卒 名、既卒 名)</p>
③	<p>日時:7/3「甲賀市・湖南市合同ジョブフェア」 場所:クサツエスタピアホテル(草津市) 主催:甲賀市、湖南市 共催:環ひわわ湖大学・地域コンソーシアム、COC+参加大学等 参加企業:66社 参加学生数:78名</p>	<p>日時:7/4「甲賀JOBフェア」 場所:クサツエスタピアホテル 主催:甲賀市、ハローワーク甲賀 参加企業:51社、学生数:87名</p>
④	<p>日時:7/29「東近江市で働こう！合同就職面接会」 場所:能登川コミュニケーションセンター 主催:東近江市就労対策協議会 協力:環ひわわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:41社 参加学生数:43名</p>	<p>日時:8/4「東近江市で働こう！合同就職面接会」 場所:能登川コミュニケーションセンター 主催:東近江市就労対策協議会 協力:環ひわわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業:45社 参加学生数:55名(新卒25名、既卒5名、一般25名)</p>
⑤	<p>日時:8/8「おおつ学生就職フェア」 場所:ひわわ湖ホテル 主催:大津市 共催:環ひわわ湖大学・地域コンソーシアム、ハローワーク大津、滋賀県中小企業団体中央会 参加企業:57社 参加学生数:79名</p>	<p>日時:8/21「おおつ学生就職フェア」 場所:ひわわ湖ホテル 主催:大津市 共催:環ひわわ湖大学・地域コンソーシアム、ハローワーク大津、滋賀県中小企業団体中央会 参加企業:63社 参加学生数:101名</p>
⑥	<p>日時:7/27「あいの甲賀土山企業面接会」 場所:ダイヤモンド滋賀 主催:あいの甲賀土山合同企業面接会実行委員会 参加企業:9社 参加学生数:6名</p>	<p>日時:7/27「あいの甲賀土山企業面接会」 場所:ダイヤモンド滋賀 主催:あいの甲賀土山合同企業面接会実行委員会 参加企業:9社 参加学生数:7名(新卒0名、既卒3名、一般3名、3回生:1名)</p>

1)合同企業説明会

平成30年度 就職支援事業一覧

	平成30年度事業	平成29年度事業	
2) 滋賀県企業人事担当者7大学就職担当者との情報交換会	⑦	<p>日時: 6/21 「びわ湖たかしま就職フェア」 場所: 安曇川ふれあいセンター 主催: 高島市 参加企業: 30社 参加学生数: 18名</p>	<p>日時: 7/21 「びわ湖たかしま就職フェア」 場所: 安曇川ふれあいセンター 主催: 高島市 参加企業: 32社 参加学生数: 42名</p>
	⑧	<p>日時: 8/21 「湖北就活ナビ」2018 場所: 文化産業交流会館(米原市) 主催: 湖北就活ナビ実行委員会(長浜市、米原市) 共催: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム、ハローワーク長浜、湖北地域雇用対策協議会 参加企業: 54社 参加学生数: 39名</p>	<p>日時: 10/13 「湖北就活ナビ」2017 場所: 長浜バイオ大学 主催: 湖北就活ナビ実行委員会(長浜市、米原市) 共催: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム、ハローワーク長浜、湖北地域雇用対策協議会 参加企業: 50社 参加学生数: 65名(新卒48名、既卒17名)</p>
	⑨	<p>日時: 2/17 「東近江市で働こう! 合同就職面接会」 場所: 能登川コミュニティセンター 主催: 東近江市就労対策協議会 協力: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム、おうみ若者未来サポートセンター 参加企業: 44社 参加学生数: 48名</p>	<p>日時: 2/3 「東近江市で働こう! 合同就職面接会」 場所: 能登川コミュニティセンター 主催: 東近江市就労対策協議会 協力: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム、おうみ若者未来サポートセンター 参加企業: 43社 参加学生数: 54名(新卒: 14名、既卒: 一般38名、3回生の見学: 2名)</p>
	⑩	<p>日時: 2/14 「滋賀ジョブフェア2019」 場所: クサツエストピアホテル 主催: 滋賀労働局、ハローワーク、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか 協力: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業: 50社 参加学生数: 90名 滋賀就活フェアin彦根</p>	<p>日時: 2/16 「SHIGAジョブフェア」 場所: クサツエストピアホテル 主催: 滋賀労働局、ハローワーク、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会ほか 協力: 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加企業: 50社 参加学生数: 123名(新卒: 15名、既卒: 21名、一般: 23名、3回生の見学: 59名) 彦根地区合同企業説明会</p>
	⑪	<p>日時: 3/13 場所: マリアージュ彦根 主催: 彦根地区雇用対策協議会 彦根公共職業安定所 参加企業: 30社 参加学生数: 58名</p>	<p>日時: 3/8 場所: マリアージュ彦根 主催: 彦根地区雇用対策協議会 彦根公共職業安定所 参加企業: 26社 参加学生数: 75名</p>
		<p>日時: 12/18 大学と企業との情報交流会 場所: クサツエストピアホテル 参加企業: 42社(42名) 参加大学: 19大学(25名) 主催: 滋賀経済産業協会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム ※大学と滋賀経済産業協会委員企業との懇談会</p>	<p>日時: 9/25 理系大学と企業との交流・懇親会 場所: コラボしが21 参加企業: 52社(68名) 参加大学: 5大学(9名) 主催: 滋賀経済産業協会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム ※加盟理系4大学と滋賀経済産業協会加盟企業との懇談会</p>
		<p>日時: 2/28 県内大学等と企業との情報交流会プログラム 場所: コラボしが 参加企業: 31社 参加大学: 9大学、短大、滋賀大学、滋賀県立大学、滋賀短期大学、滋賀文教短期大学、聖泉大学 長浜ハイオ大学、びわこ学院大学、龍谷大学、立命館大学</p>	<p>日時: 2/28 県内大学等と企業との情報交流会プログラム 場所: コラボしが 参加企業: 31社 参加大学: 9大学、短大、滋賀大学、滋賀県立大学、滋賀短期大学、滋賀文教短期大学、聖泉大学 長浜ハイオ大学、びわこ学院大学、龍谷大学、立命館大学</p>



平成30年度 就職支援事業一覧

	平成30年度事業	平成29年度事業
3) 大学就職担当者の情報交換会・研修会の実施	<p>日時：9/21 関係機関との意見交換会 場所：環びわ湖大学・地域コンソーシアム セミナールーム 参加：11大学(12名)、中央会：2名、労働局：1名、滋賀県：2名 滋賀県経済産業協会：2名、大津市：1名、真近江市：1名、甲賀市：1名、長浜市：1名 環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局</p> <p>日時：1/25 大学就職担当者の情報交換会・研修会 場所：環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加大学：11大学(15名) 主催：環びわ湖大学・地域コンソーシアム テーマ：①障がいのある学生の支援について、②キャリア支援者の面接スキル向上について</p>	<p>日時：9/18 関係機関との意見交換会 場所：環びわ湖大学・地域コンソーシアム セミナールーム 参加：7大学(8名)、中央会：2名、労働局：1名、滋賀県：2名 滋賀県経済産業協会：2名、大津市：1名、真近江市：1名、甲賀市：1名、高島市：1名 環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局</p> <p>日時：1/19 大学就職担当者の情報交換会・研修会 場所：環びわ湖大学・地域コンソーシアム 参加大学：10大学 主催：環びわ湖大学・地域コンソーシアム テーマ：障がいのある学生に対する進路・就職支援</p>
4) 学生を対象とした就職活動に活かす就職イベント（ミニ・インターンシップ）	<p>日時：12/9 「しが就活塾 1day ワークショップ」 場所：草津市立まちづくりセンター 主催：滋賀県中小企業団体中央会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀県、COO+ 参加企業：9社(叶 匠寿庵、近江鉄道、アプライス&amp;デジタルソリューション、ベストオーネ、ゴーシュー、日本ソフト開発、甲賀高分子、三陽建設、オプテックス) 学生：27名</p>	<p>日時：12/10 「環びわ・しが就活塾」 場所：草津市立市民交流プラザ フェリエ南草津5階 主催：滋賀県中小企業団体中央会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀県、COO+ 参加企業：7社(近江鉄道、オプテックス、叶 匠寿庵、甲賀高分子、滋賀銀行、滋賀特機、日吉) 参加学生数：49名</p>
5) 企業採用経験者による模擬面接会	<p>期間 5/18から7/31まで 場所：実施希望大学</p>	<p>期間 5/17から7/31 場所：実施希望大学</p>

## 2018（平成30）年度 単位互換事業報告

### 1. 担当校について

主担当校：立命館大学

副担当校：聖泉大学・長浜バイオ大学

### 2. 取り組みの経過について

2017年11月30日（木）～12月8日（金）12:00 <メール審議>において、単位互換事業委員会及び教務担当者会議合同会議（以下「合同会議」という。）で2018年度の単位互換事業の進め方（「ガイドライン」）について協議・決定し、2018年度の事業を開始した。

各大学からの提供科目及びシラバス原稿の集約を行い、3月下旬に環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換制度のHPを更新し、また各大学に募集チラシ・ポスターを配付し、募集活動を開始した。

4月上旬から、各大学で募集ガイダンスと出願受付を行い、4月末に科目提供大学で受講者を決定し、各大学で単位互換科目の授業が行われた。

2018年6月14日（木）に環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局の会議室で合同会議を開催し、単位互換事業の進捗状況の報告を行った。また、第1回幹事会にて単位互換事業の受講者の増加方策の検討をしてほしいという意見があったことを受け、参加校から学生の状況や自校のカリキュラムについて情報を共有し意見交換をした。滋賀県は地理的な要因により、移動が困難であるため、参加者数を増加させることは困難ではあるが、集中講義等で工夫ができないかなどを検討し、引き続き課題としていくこととした。あわせて、フィールドワークや昼食を伴う授業については、欠席する場合は必ず、送出大学から受入大学に連絡することになっているが、連絡がない場合が多い。授業運営に支障を来すため、送出大学は参加学生に上記のことを十分周知し、欠席連絡を送出大学より受入大学、に必ず行なうことを改めて確認をした。

2018年11月14日（水）に第2回合同会議を開催し、2019年度単位互換事業ガイドライン及び単位互換事業履修生募集ガイドについて審議・承認し、2018年度後期試験時間割・成績処理日程等の確認を行った。おうみ学生未来塾の事業が単位互換事業部会に移管された経緯についてコンソーシアム事務局長より説明いただき、2019年度の開講については、2018年度実施大学の3校に引き続きお願いした。あわせて、2019年度の事業部会の予算額については、移管されたおうみ学生未来塾の事業運営費を加算した金額を申請することを確認した。単位互換事業のポスターやチラシは、学生に事業の認知度を高めるため、当面の間、同じデザインを踏襲することとした。

第1回会議で確認したにも関わらず、今年度も学生の無断欠席があり、受入れ校の授業運営に支障を来した。フィールドワーク系の授業においては学生の欠席連絡は送出大学が受入大学に連絡することを再度確認した。

### 3. 単位互換事業の内容について

#### (1) 提供科目

2018年度の提供科目数は67科目（同一科目を複数の曜日時限に開講する場合に、それぞれを1科目として数えたもの）で、2017年度と比べて3科目増加した。集中講義は10科目で前年度より1科目増加し、滋賀らしい科目は13科目で前年度と同数である。

なお、実質的な科目数（学生が選択できる科目数）は、2018年度は65科目、2017年度は62科目で3科目増加した。

【別紙（1）：提供科目一覧（2018年度）参照】

## (2) 受講科目及び受講者数

提供科目のうち、他大学生が出願し受講が許可された科目数は19科目であり、昨年最終時点より2科目減少した。受講率（＝受講科目数÷提供科目数）は28%で、昨年度（33%）からさらに減少となった。また、提供科目に対し受講者数が0名となった大学は3校で、昨年度と同数となった。

受講者数は延べ99名（実数79名）であり、昨年度107名からは8名（実数では2名）減少した。また、本年の出願数は99件（2017年度107件 辞退者7件 受入不可13件）であり、出願ベースでも昨年度に比べ21件減少（辞退者除く・受入不可件数13件を入れる）している。

本年度も集中講義の人気は高く、集中講義8科目で77件の受講者数となり、「滋賀論」（前期集中・聖泉大学提供科目）は35名の受講者を集めた。

2016年度から開講した大学連携型PBL科目「おうみ学生未来塾」（3科目）の受講者数は、「おうみ学生未来塾（湖東）」＜滋賀県立大学＞が10名、「おうみ学生未来塾（湖北）」＜長浜バイオ大学＞が5名で、「近江学B・おうみ学生未来塾（湖西）」＜成安造形大学＞は3名の結果となり、毎年一定数の受講者を集めている。

【別紙（2） 提供科目数・受講科目数・受講率（2014年度～2018年度） 参照】

【別紙（3） 授業科目別受講者数一覧（2018年度） 参照】

【別紙（4） 受講者数（2018年度） 参照】

## (3) 大学別の送出件数・受入件数

大学別に「送出件数」「受入件数」を見ると、本年度も多くの大学において「送出件数」が低迷している（12大学のうち9大学の送出件数が0名）。一方「受入件数」は、多少の差異があるものの分散化傾向にある（12大学のうち3大学の受入件数が0名）。

年度別に見ると「送出」は、2014年度は7大学、2015年度は9大学と増加したが、2016年度は7大学、2017年度・2018年度は3大学と再び低下した。「受入」は、2014年度は8大学、2015年度は10大学、2016年度は12大学（全大学）と推移し、2017年度・2018年度は9大学において単位互換科目受講者を受け入れている。

【別紙（5） 送出件数・受入件数（2013年度～2018年度） 参照】

## (4) 成績取得状況

2018年度の成績取得状況は、受講者数99名のうち合格が58名（58.6%）という状況で、2017年度の合格率61.7%（107名のうち66名合格）と比較し、若干低下した。

前期（春学期）は、50名（70%）、後期（夏秋学期）は、49名（47%）と大幅に合格率は低下する。

※2017年度は前期（春学期）科目50名のうち合格が36名（72.0%）で、後期（秋学期）科目57名のうち合格が30名（52.6%）である。

また2018年度は不合格者41名のうち、受講放棄・試験未受験と思われるものが（得点が「0」または成績評価が「評価不可」、「評価なし」「出席日数不足」等）が32名（78%）あった。2017年度は不合格者41名のうち33名（80.5%）であり、2016年度は不合格者57名のうち、受講放棄・試験未受験と思われるもの45名（78.9%）と比較すると、受験放棄は、ほぼ同じような状況が続いている。

以上

## 別紙

## (1) 提供科目一覧 (2018年度)

提供大学	科目番号	キャンパス	科目名	担当者 (フルネーム)	単位	回生 *1	単位互換 定員 *2	開講期間 *3	曜日	時限
滋賀大学	1	彦根	日本の歴史	青柳 周一	2	1回生以上	10名程度	春学期	火	3
	2	彦根	データサイエンスへの招待	川井 明	2	1回生以上	10名程度	春学期	木	2
	3	大津	生命と物質	糸乗 前	2	1回生以上	10名程度	春学期	金	3
	4	彦根	エンジニアリングへの招待	岳野 公人	2	1回生以上	10名程度	春学期集中	-	-
	5	彦根	経済学からの問い	片山 雅志	2	1回生以上	10名程度	秋学期	水	2
	6	彦根	言語と文化	中村 史朗	2	1回生以上	10名程度	秋学期集中	-	-
	7	彦根	現代の諸問題	佐野 洋史	2	1回生以上	10名程度	秋学期	火	3
	8	彦根	数学への招待	菊池 健太郎	2	1回生以上	10名程度	秋学期	火	5
	9	大津	情報学への招待	岩井 憲一	2	1回生以上	10名程度	秋学期	月	4
	10	彦根	近江の歴史	馬場 義弘	2	1回生以上	10名程度	秋学期	水	3
	11	彦根	彦根・湖東学	彦根市長 他	2	1回生以上	10名程度	秋学期集中	土	-
滋賀医科大学	12	-	哲学入門	室寺 義仁	2	1回生以上	10名	前期	火	2
	13	-	行動科学基礎	小島 隆次	2	1回生以上	10名	後期	金	1
滋賀県立大学	14	-	近江の美	印南 比呂志	2	不問	10名程度	前期	月	4
	15	-	おうみ学生未来塾(湖東)	上田 洋平	2	2回生以上	30名(全定員)	夏期集中	-	-
	16	-	近江の歴史と文化	京樂 真帆子	2	不問	10名程度	後期	月	4
	17	-	びわこ環境行政論	井手 慎司	2	不問	10名程度	後期	月	4
滋賀短期大学	18	-	SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション -近江の暮らしとなりわい-	上田 洋平	2	不問	100名(全定員)	夏期集中	-	-
	19	-	生活デザイン演習Ⅱ	灰藤 友理子	1	1回生以上	若干名	後期	水	1
	20	-	心理学	林 幸範	2	1回生以上	若干名	前期	木	1
	21	-	現代社会と福祉	松木 宏史	2	1回生以上	若干名	後期	木	1
	22	-	オフィス総論	若生 真理子	2	1回生以上	若干名	前期	金	3
	23	-	秘書実務Ⅰ	若生 真理子	1	1回生以上	若干名	前期	月	5
	24	-	秘書実務Ⅰ	若生 真理子	1	1回生以上	若干名	前期	水	3
	25	-	秘書実務Ⅱ	若生 真理子	1	1回生以上	若干名	後期	水	4
滋賀文教短期大学	26	-	秘書実務Ⅱ	若生 真理子	1	1回生以上	若干名	後期	水	5
	27	-	中古の文学	池田大輔	2	1回生以上	若干名	春	火	3
成安造形大学	28	-	近代の文学	池田大輔	2	1回生以上	若干名	秋	火	2
	29	-	近江学B (大学連携・地域連携型PBL科目「おうみ学生未来塾」)	加藤賢治・仁連孝昭	2	1回生以上	10名程度	前期集中	-	-
	30	-	文化史B	加藤賢治	2	2回生以上	10名程度	後期	木	2
	31	-	琵琶湖の民俗史	加藤賢治	2	1回生以上	10名程度	後期集中	-	-
	32	-	デザイン史概説A	島先京一	2	1回生以上	10名程度	前期	火	1
	33	-	デザイン史概説B	島先京一	2	1回生以上	10名程度	後期	火	1
	34	-	東洋・日本美術史概説A	小嶋善通	2	1回生以上	10名程度	前期	水	1
	35	-	東洋・日本美術史概説B	小嶋善通	2	1回生以上	10名程度	後期	水	1
	36	-	西洋美術史概説A	千速敏男	2	1回生以上	10名程度	前期	木	1
	37	-	西洋美術史概説B	千速敏男	2	1回生以上	10名程度	後期	木	1

提供大学	科目番号	キャンパス	科目名	担当者 (フルネーム)	単位	回生 *1	単位互換 定員 *2	開講期間 *3	曜日	時限
聖泉大学	38	-	心理学概論A	新美秀和	2	1回生以上	若干名	前期	木	5
	39	-	滋賀論	近藤紀章	2	2回生以上	若干名	前期集中	土	-
	40	-	現代人と健康	炭谷将史	2	1回生以上	若干名	後期	木	1
長浜バイオ大学	41	-	生物学基礎	岩本 昌子	2	1回生以上	5名以内	前期	水	1
	42	-	基礎微生物学	大島 淳 向 由起夫	2	2回生以上	5名以内	前期	月	2
	43	-	遺伝子工学	大島 淳	2	2回生以上	5名以内	後期	火	3
	44	-	おうみ学生未来塾	松島 三兒	2	2回生以上	全定員36名	夏期集中	-	-
びわこ学院大学	45	-	子ども学総論	近藤 文里 鳥野 猛 渡辺 雅幸	2	1回生以上	若干名	春学期	木	4
	46	-	滋賀の環境	佐々木 和之	2	1回生以上	若干名	秋学期	火	1
	47	-	メンタルトレーニング論	竹内 早耶香	2	2回生以上	若干名	春学期	火	5
	48	-	スポーツバイオメカニクス	稲岡 純史	2	2回生以上	若干名	秋学期	金	2
	49	-	レクリエーション論	山ノ井 勉	2	1回生以上	若干名	春学期	水	4
	50	-	生活と福祉	山ノ井 勉	2	1回生以上	若干名	秋学期	月	3
びわこ成蹊 スポーツ大学	51	-	スポーツバイオメカニクス	高橋 佳三	2	1回生以上	若干名	前期	金	4
	52	-	地球の歴史と琵琶湖	西野 麻知子	2	1回生以上	若干名	後期	金	1
龍谷大学	53	-	生活の中の数学	大西 俊弘	2	1回生以上	15名	前期	水	3
	54	-	里山学	宮浦 富保 他	2	1回生以上	10名	前期	月	3
	55	-	環境と人間A	奥田 哲士	2	2回生以上	20名	後期	月	2
	56	-	びわ湖・滋賀学	脇田 健一	2	2回生以上	不問	後期	水	1
	57	-	まちづくり論(まちおこし論)	笠井 賢紀 竹山 和弘	2	2回生以上	不問	後期	水	1
	58	-	性と人権(性の倫理学)	田村 公江	2	2回生以上	不問	後期	月	2
	59	-	社会企業論	川中 大輔	2	2回生以上	不問	後期	水	2
	60	-	社会貢献論	川中 大輔	2	2回生以上	不問	前期	火	2
立命館大学	61	-	ODA・国際援助論(E)	堀口 宗尚	2	3回生 以上	10名程度	夏期集中Ⅱ	一	一
	62	-	科学と技術の歴史(TB)	森 亮資	2	1回生以上	10名程度	秋学期	木	5(9・10)
	63	-	情報技術と社会(TA)	服部 文夫	2	1回生以上	10名程度	春学期	水	4(7・8)
	64	-	科学・技術と社会(C)	馬淵 浩一	2	1回生以上	10名程度	春学期	月	2(3・4)
	65	-	生命科学概論(M)	小堤 和彦	2	1回生以上	10名程度	春学期	月	5(9・10)
	66	-	薬学概論(Y)	浅野 真司	2	1回生以上	5名程度	春学期	火	1(1・2)
	67	-	スポーツマネジメント論(V)	長積 仁	2	2回生以上	10名程度	春学期	水	2(3・4)

## (2) 提供科目数・受講科目数・受講率 (2014年度～2018年度)

科目提供大学	滋賀大学	大滋賀医科大学	滋賀県立大学	滋賀短期大学	短期賀文大	大成造学形	聖泉大	大長浜バイオ学	大びわこ学院	スビわこッ大成	龍谷大	大立命館学	全大計	
2014年度	提供科目数	11	6	3	8	2	6	3	4	4	2	8	8	65
	受講科目数	8	3	2	3	0	3	2	0	0	0	7	3	31
	受講率	73%	50%	67%	38%	0%	50%	67%	0%	0%	0%	88%	38%	48%
2015年度	提供科目数	11	6	4	8	3	8	3	4	13	2	8	7	77
	受講科目数	10	6	2	4	1	3	2	0	3	0	7	2	40
	受講率	91%	100%	50%	50%	33%	38%	67%	0%	23%	0%	88%	29%	52%
2016年度	提供科目数	12	3	5	8	2	6	3	5	10	3	8	8	73
	受講科目数	4	2	1	3	1	1	2	1	1	2	7	2	27
	受講率	33%	67%	20%	38%	50%	17%	67%	20%	10%	67%	88%	25%	37%
2017年度	提供科目数	12	2	5	6	2	9	3	4	6	3	6	6	64
	受講科目数	6	1	1	1	0	2	1	1	2	0	6	0	21
	受講率	50%	50%	20%	17%	0%	22%	33%	25%	33%	0%	100%	0%	33%
2018年度	提供科目数	11	2	5	8	2	9	3	4	6	2	8	7	67
	受講科目数	2	0	2	2	0	2	1	1	2	0	6	1	19
	受講率	18%	0%	40%	25%	0%	22%	33%	25%	33%	0%	75%	14%	28%

※自大学への出願は除く

## (3) 授業科目別受講者数一覧 (2018年度)

2018年度受講科目一覧(提供科目数:67科目 受講科目数:19科目)				
科目番号	科目提供大学名	科目名	受講者数	集中講義
4	滋賀大学	エンジニアリングへの招待	1	○
11	滋賀大学	彦根・湖東学	9	○
15	滋賀県立大学	おうみ学生未来塾(湖東)	10	○
18	滋賀県立大学	SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション -近江の暮らしとなりわい-	13	○
20	滋賀短期大学	心理学	2	
22	オフィス総論	オフィス総論	2	
29	成安造形大学	近江学B(おうみ学生未来塾)(湖西)	3	○
37	成安造形大学	西洋美術史概説B	1	
39	聖泉大学	滋賀論	35	○
44	長浜バイオ大学	おうみ学生未来塾(湖北)	5	○
45	びわこ学院大学	子ども学総論	1	
47	びわこ学院大学	メンタルトレーニング論	1	
54	龍谷大学	里山学	1	
55	龍谷大学	環境と人間A	2	
56	龍谷大学	びわ湖・滋賀学	7	
57	龍谷大学	まちづくり論(まちおこし論)	1	
58	龍谷大学	性と人権(性の倫理学)	3	
59	龍谷大学	社会企業論	1	
61	立命館大学	ODA・国際援助論(E)	1	○
総計			99	8科目

(4) 受講者数 (2018年度)

2018年度	学生所属大学												総計
	滋賀大学	滋賀医科大学	滋賀県立大学	滋賀短期大学	滋賀短期大学学教	成安造形大学	聖泉大学	長浜バイオ大学	びわこ学院大学	びわこ成蹊スポーツ大学	龍谷大学	立命館大学	
科目提供大学													
滋賀大学											1	9	10
滋賀医科大学												0	0
滋賀県立大学	5										1	17	23
滋賀短期大学												4	4
滋賀文教短期大学												0	0
成安造形大学												4	4
聖泉大学	2											33	35
長浜バイオ大学												5	5
びわこ学院大学											1	1	2
びわこ成蹊スポーツ大学												0	0
龍谷大学	3											12	15
立命館大学	1												1
総計	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	85	99

(5) 送出件数・受入れ件数 (2014年度～2018年度)

大学名	送出件数					総計	受入件数					総計
	2014	2015	2016	2017	2018		2014	2015	2016	2017	2018	
滋賀大学	9	6	4	4	11	34	29	31	29	16	10	115
滋賀医科大学	3	1	1	0	0	5	15	18	2	1	0	36
滋賀県立大学	0	4	2	0	0	6	2	3	12	6	23	46
滋賀短期大学	0	0	0	0	0	0	6	9	5	4	4	28
滋賀文教短期大学	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	3
成安造形大学	1	2	1	0	0	4	17	9	7	8	4	45
聖泉大学	11	11	0	0	0	22	12	19	40	37	35	143
長浜バイオ大学	0	6	0	3	0	9	0	0	5	5	5	15
びわこ学院大学短期大学部	1	0	1	0	0	2	0	4	1	2	2	9
びわこ成蹊スポーツ大学	1	4	0	0	0	5	0	0	3	0	0	3
龍谷大学	0	1	1	0	3	5	26	27	34	28	15	130
立命館大学	88	91	132	100	85	496	7	5	2	0	1	15
総計	114	126	142	107	99	588	114	126	142	107	99	588

## 2018（平成30）年度広報事業報告

### 1. 担当は以下の通り

事務局

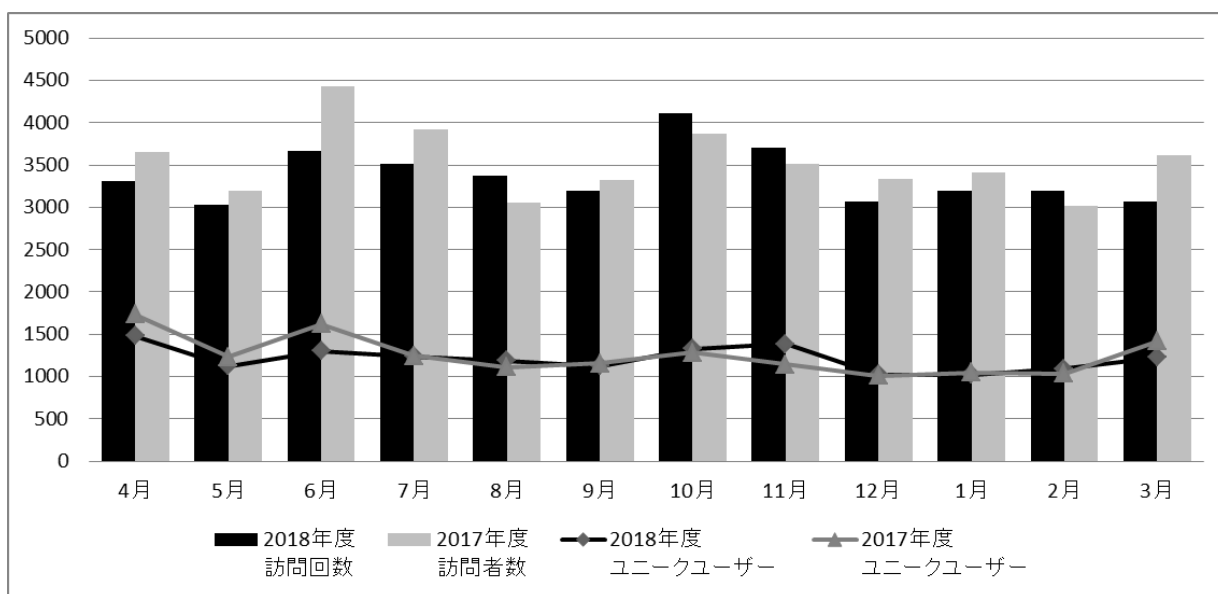
### 2. ホームページの管理・運営について

コンソーシアム事業部会および大学・自治体等で開催されるイベント等の情報提供を行った。年度内において「お知らせ」記事を35件ホームページ上で掲載した。

情報の更新

- ① 事業部会のページについて、平成30年度の事業内容に更新した。
- ② 総会の決議を受けて、組織図、役員一覧、役員会議事録、財務状況を更新した。
- ③ 一部の大学について、紹介ページを更新した。

なお、年度内のアクセス数は40,408件（ユニークユーザー数14,525件）であった。



### 3. 広報資料の配布

2019年版のリーフレット（A3三つ折・8,000部）を作成し、関係機関に配布した。

### 4. 事業委員会と連携した広報活動について

大学地域連携事業（大学地域連携課題解決支援事業、環びわ湖大学地域交流フェスタ）、就職支援事業（合同企業説明会、環びわ・しが就活塾）、単位互換事業（互換科目の受講案内）等について、各事業委員会と連携してホームページ掲載をはじめとした広報を行った。



## 2018（平成 30）年度「県内高等教育振興のための政策研究事業」報告

1. 委託事業名：「県内高等教育振興のための政策研究事業」

2. 委託期間：契約締結の日～平成 31 年 3 月 29 日（金）

3. 業務内容

### (1) 基礎調査

人口減少を見据えた大学と地域の連携のあり方調査報告書（平成 27 年 12 月）の 30 年度分データの追跡調査

・ 6 月 11 日付で、各大学にデータ提出を依頼した。

### (2) 県内大学等の現状把握・分析

県内に立地する大学等全般にわたる現状と課題を把握し分析する。

・ 9 月 28 日から 11 月 8 日にかけて、加盟高等教育機関に、地域および高等教育機関間の連携事業に関して記述式アンケートを実施した。

・ 高等教育政策に基づいて大学側が地域連携事業に積極的に取り組むようになり、自治体の側も少子高齢化の進行にともない大学等との連携を強めるようになってきたが、基本的に市域に立地する大学との連携にとどまっている。

### (3) 大学等や地域全体の活性化に向けた取組内容の検討

大学等間あるいは大学等と地域が連携して行う、大学等や地域全体の活性化に向けた取組の具体的な内容について検討する。

・ 単位互換事業はコンソーシアムの事業のほか、県東北部と南部の二つの大学クラスターでも実施されている。新たな動きとして、教職員の交流、学生の交流、共同研究、産官学連携、地域連携などを対象に大学間で連携を進める動きが出てきているが、まだ本格化していない。このように、各高等教育機関で連携への機運が整い、連携事業の経験が蓄積されてきている。これを新たな段階に引き上げるには、コーディネート機能、プロデュース機能を持つプラットフォームが必要となっている。

なお、2つのクラスターを形成している滋賀県の高等教育機関の現状から2つのプラットフォームによる連携が現実的かもしれない。

#### (4) 滋賀県における高等教育機関振興のための課題

##### (a) 先進事例の調査

1月22日(火)に、コンソーシアム石川、金沢市を訪問し、聞き取りをした。

- ・ 学生参加事業の推進とそれを支援する体制がある。
- ・ コーディネーターによる学生、企業、地域団体との協働支援を行っている。
- ・ 行政、市民、大学（学生）の交流の場づくりを作っている。
- ・ インターカレッジな学生活動の支援を行っている。

##### (b) 県内大学立地市市長の意見

2月13日(水)に大津市、19日(火)に長浜市、22日(金)に草津市を訪問し、市長・副市長から意見をいただいた。

- ・ まちづくりの提案に終わり活動につなげられていない（大津副市長）
- ・ 継続的な取り組みができていない（大津副市長）
- ・ 学生の地域における取り組みの受け皿はどの分野でもあるが、農村部（地方）では学生と地域のつながりは希薄（長浜市長）
- ・ 県内の大学・学生が集まるサテライトキャンパスが必要（長浜市長）
- ・ 大学のシーズが分かりにくいので、大学との連携の制約となっている。地域をフィールドとする教員のデータバンク機能をコンソーシアムが果たして欲しい（草津市長）
- ・ UDCBKを市民、行政、大学の交流のたまり場として設けた。地域と大学の交流のプラットフォームとなるので活用してほしい。（草津市長）

##### (c) 県内経済団体の意見（経済同友会代表幹事）

2月25日(月)に滋賀経済同友会を訪問し、意見をいただいた。

- ・ 大学の3つ目の機能は企業を惹き付けること。研究テーマで企業を惹き付ける活動をして欲しい
- ・ 経営者が直接学生に話しかけることが必要
- ・ ビジネスプランの作成や起業の演習は提案だけに終わっている。提案に終わるのではなく実践に結びつけることが必要。そのためにはファンドなど投資家も参加することが必要。
- ・ シリコンバレーでは異なる考えを持つ学生が集まり対話する場がつくられている。オープンに議論でき、発表する機会があり、自由に意見を戦わせる場がある。そのようなアイデアが醸成される場が必要である。

#### 4. 委員による活動：

調査研究・分析並びに事業推進実現のための課題抽出するために、県内大学から委員を推薦いただき、調査票の設計、分析・課題整理、推進策のスクリーニング、課題抽出、市長等のヒアリングを行った。

(委員名) (順不同)

滋賀大学教育学部教授	若松 養亮
滋賀県立大学地域共生センター助教	上田 洋平
立命館大学経営学部教授	播磨谷 浩三
龍谷大学社会学部教授	脇田 健一
長浜バイオ大学バイオサイエンス学部教授	河合 靖
環びわ湖大学・地域コンソーシアム顧問	仁連 孝昭

5. 報告書の作成：

「大学等や地域全体の活性化に向けた取り組み内容の検討」報告書を作成し、3月29日(金)に滋賀県に納品をした。各大学へは4月に送付した。

以 上